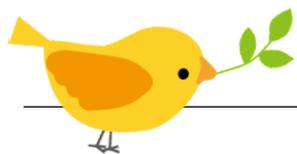


# 大分県社会福祉協議会で働く 先輩職員の声

vol.03  
2021年



OUR VOICE



**name : 川島 奈々**

入職年度	令和2年（勤続2年目）
所 属	地域福祉部
年 代	20代

## ①現在、どんな仕事をしていますか？

地域福祉部に所属して、子ども食堂の開設・運営に関する相談支援や、研修会・連絡会の企画・運営を行っています。

## ②仕事をしていた、うれしかったことや印象に残っていることは？

微力ながら、子ども食堂の開設に関わらせていただいたことです。県内で子ども食堂を開設しようとお考えの方から相談を受け、その後実際に開設したというお話をうかがいました。相談に来られた時の不安な表情から一転、開設後は楽しく活動されている様子で、とてもうれしかったです。それと同時に、自分自身の知識や経験を積み重ね、これまで以上に地域の方々から頼られるようになりたいと思うようになりました。

## ③大分県社会福祉協議会を志した理由は？

学生時代に参加していたボランティア活動を通して、地域を元気にするためには、その地域の人たちが楽しく、いきいきと活動できる場が重要であると実感したことがきっかけです。地域の人々がさまざまな福祉活動に参加し、希薄化している「つながり」を再構築するための働きかけがしたいと思い、志望しました。

## ④県社協職員のやりがいとは？

県社協の業務は多岐にわたっており、行政や市町村社協をはじめとした関係機関と連携・協議して仕事を進めています。こうしてつながり、たくさんの知識や情報を吸収することで、ひとつの考え方にとらわれず、さまざまな角度から課題にアプローチできるところに「やりがい」を感じています。

## ⑤職場の雰囲気はどうか？

程良い距離感で、相談しやすい環境です。入職当時は知識や経験がないことによって、業務をこなせるか不安に思っていたのですが、先輩方から優しく丁寧に指導いただいたことで、わからないことが気軽に相談できる環境なのだとわかり、不安が解消されました。また、メンター制度も導入されており、新入職員が職場環境に慣れるように組織全体がサポートしてくれているように感じます。

## Message

担当業務であっても、わからないことが多く勉強の毎日ですが、常に自分がアップデートされ、充実した日々を過ごしています。自分がやりたいことに挑戦できる県社協と一緒に仕事できる日を楽しみにしています。

